

# 令和5年度 学校関係者評価報告書

学校法人 都築学園  
専門学校 第一自動車大学校

## 1 学校関係者評価の目的

自己点検の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、自己評価結果の客観性・透明性を高めるとともに、生徒・卒業生、関係業界、小学校等、地域住民など、専門学校第一自動車大学校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図る。

## 2 学校関係者評価委員会の目的等

### (1) 目的

学校関係者評価委員会は、その評価結果や今後の改善方策等について取りまとめ、広く公表するとともに、学校はこれを自己点検の改善方策の検討において活用し、次年度の重点目標の設定や具体的取組の改善を図る。

### (2) 評価の基本

学校評価委員会は、各種の資料の検証や、学校の諸活動の観察等を通じて、令和5年度の学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について次の項目等に基づき評価することを基本とする。

ア 自己評価の結果の内容が適切かどうか。

イ 自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか。

ウ 学校の重点目標や自己評価の評価項目等が適切かどうか。

エ 学校運営の改善に向けた実際の取り組みが適切かどうか。

オ 学校運営の継続的改善を図る観点から、運営改善のための専門的助言

## 3 学校関係者評価会議

### (1) 実施日時・場所

令和6年5月18日（土）1000～ 専門学校第一自動車大学校3階教室

### (2) 学校関係者評価委員名簿

氏名	役職等
寺崎 浩二	一般社団法人福岡県自動車整備振興会 指導部 部長
東 あかね	福岡トヨペット株式会社 採用・教育部 採用教育グループ 上級主任
武田 匡博	福岡スバル株式会社 総務統括部 人事課
松本 文彦	福岡市東光公民館 館長
王 東明	東越自動車 代表者

### (3) 本校出席者

氏名	役職等	氏名	役職等
江崎 久	校長	鬼山 誠一	就職課
吉田 智博	学生課長	松尾 聡	事務長
松岡 宏和	教務課長	富野 慶一	事務
大家 隆弘	教務課		

#### (4) 実施次第

- ア 開会及び校長挨拶
- イ 学校関係者評価委員紹介
- ウ 第一自動車大学校職員自己紹介
- エ 自己評価の結果説明
- オ 自己評価に対する審議
- カ 閉会

#### (5) 自己点検評価

##### ア 目的

文部科学省の「専修学校における学校評価ガイドライン」にそって、本校の教職員・事務職員全員に実施し、自己の客観性・透明性を高め、学校運営の取り組み方、実施方法について改善を図る。

##### イ 評価の要領

学生へのアンケート調査を踏まえ、教員及び事務職員が評価項目に従い、4段階評価により自己点検・評価を行い、総合的に評価分析し、学校としての今後の課題と改善策を明らかにする。

##### ウ 評価項目

- (ア) 教育理念・目標
- (イ) 学校運営
- (ウ) 教育活動
- (エ) 学修成果
- (オ) 学生支援
- (カ) 教育環境
- (キ) 学生の受け入れ募集
- (ク) 財 務
- (ケ) 法令等の遵守・内部質保証
- (コ) 社会貢献・地域貢献
- (ク) 国際交流

##### エ 評価表記

4・・・適切      3・・・ほぼ適切      2・・・やや不適切      1・・・不適切

##### オ 評価対象期間

令和5年4月1日～令和6年3月31日

##### カ 評価の結果

###### (ア) 教育理念・目標

教育基本法及び学校教育法に従い本校の建学の精神である「個性の伸展による人生錬磨を校是とする」を掲げ、その方針に則り各自の能力及び特性に応じ社会の要求に即応した一級自動車整備士、二級自動車整備士を育成し、我が国の自動車産業の技術の振興に寄与している。

また、自動車産業界の進歩と保安基準の変化に伴い高い技術を有する一級自動車整備士コースを開設するなど社会のニーズに応えた体制を整えるとともに、日本人と外国人留学生を幅広く受け入れ、グローバルな環境を活かして職業人の養成を行い国際社会に貢献する学校を目指している。

項目	評価項目	自己点検 評価	学校関係者 評価
1-1	学校は教育理念・目的・育成人材像を定めていますか	3	3
1-2	学校における職業教育は適切に定められていますか	3	3
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱えていますか	3	3
1-4	学校の理念・目的・人材育成・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されていますか	3	3
1-5	学科・コースの教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界の人材ニーズに向けて方向付けられていますか	3	3

【報告】1-5 学科・コースの教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界の人材ニーズに向けて方向付けられていますか。

(具体的取り組み)

自動車産業のニーズに対応しうる有為な人材を育成するという理念のもと、その達成のための教育目標・育成人材像の方向付けを定めている。

(課題)

自動車産業のニーズの継続的な把握、教育目標及び育成人材像への適宜の見直し、反映が必要である。

(改善策)

JAMCA、福岡県自動車整備振興会、自動車関連業者、各社ディーラー等から積極的かつ継続的に社会的ニーズや自動車産業の将来的な動向に関する情報を入手し、教育目標や育成人材像への影響について継続的に分析し反映、教職員等は自動車整備振興会や各社ディーラー等の外部講習を計画的に受講する。

#### (イ) 学校運営

学校設置当初から学校運営・目的に沿った「教育指針」を学校運営方針として定め、中・長期的な視点のもと、教育に影響を及ぼす環境の変化や前年度の教育成果等を分析し、年度の教育、就職支援、募集広報等について事業計画を策定し、法人の規程を遵守しつつ着実に校務を運営している。

項目	評価項目	自己点検 評価	学校関係者 評価
2-1	学校運営・目的等に沿った運営方針が策定されていますか	4	4
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されていますか	3	3
2-3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されていますか	3	3
2-4	人事等に関する規定等は整備されていますか	4	4
2-5	教育活動等に関する情報公開が適切になされていますか	4	4
2-6	情報システム化等による業務の効率化が図られていますか	3	3

【報告】2-6 情報システム化等による業務の効率化が図られていますか。

(具体的取り組み)

学内統合情報システム S-W i n g を導入し、学生の出席・成績等の管理等、校務業務の効率化を図っている。

(課題)

S-W i n g の機能の十分な活用ができていない。

(改善策)

S-W i n g の活用要領のマニュアル化及びより使い易い機能への更新

(委員の方からのご意見)

- ・マークシート等のシステムを使った試験の有効活用による学生へのアドバイス時間の確保
- ・パソコンの導入による効率化（試験～解答～成績管理）

#### (ウ) 教育活動

国土交通省の指定校として基準以上の教育及び学校独自の指定外教育等によりわかる教育、分からせる教育をモットーに、留学生を含む学生一人一人の個性を活かし、学力に合ったきめ細やかな授業体制の中で基本に力を入れ、一級・二級自動車整備士合格率100%及び就職率100%達成に向けて全教職員一丸となっている。また、自動車関連の資格取得について積極的に奨励している。

項目	評価項目	自己点検 評価	学校関係者 評価
3-1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が査定されていますか	3	3
3-2	教育理念・育成人材や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間確保は明確化されているか	3	3
3-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されていますか	3	3
3-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点にたったカリキュラムや教育方針の工夫・開発が実施されていますか	4	4
3-5	関連分野の企業・関係施設や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直しが行われていますか	2	2
3-6	関係分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられていますか	3	3
3-7	授業評価の実施・評価体制はありますか	3	3
3-8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定基準は明確になっているか	3	3
3-9	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置付けはあるか	3	3
3-10	人材育成目標の達成に向け授業をおこなうことができる要件を備えた教員を確保しているか	3	3
3-11	関連分野における業界との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	3	3

項目	評価項目	自己点検 評価	学校関係者 評価
3-12	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上の取り組みがなされているか	2	2
3-13	職員の能力開発のための研修等がおこなわれているか	2	2

【審議内容】 3-12 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上の取り組みがなされているか。

(具体的取り組み)

福岡県自動車整備振興会等で実施される自動車関連分野に係る研修会に教員を参加させている。

(課題)

教員数に余裕が無いため、授業進度により参加できない。

(改善策)

継続的な教職員募集による教員の確保

## (エ) 学修成果

一級自動車メカニックコース、メカニックコース、留学生基礎自動車整備士コースそれぞれ明確な目標を設定し、結節時の評価判定と個々に応じたきめ細やかな教育により段階的に実力向上を図った。

令和5年度国家試験において、一級自動車整備士100%、二級自動車整備士ガソリン100%・ジーゼル98.4%であった。留学生は100%であったが、日本人学生が1名合格できなかったことについて、今回の結果を踏まえよく分析・検討し、教員の教授能力向上を含め今後の教育に反映していく。

退学率の軽減策については、担任制により、自己発見検査等を活用した学生の心情等の把握に積極的に努めるとともに、教職員間の情報の共有により組織的な体制を構築して退学率の軽減を図っている。

就職に関しては、日本人、留学生ともに100%就職できており着実に就職指導の成果が上がっている。

項目	評価項目	自己点検 評価	学校関係者 評価
4-1	就職率向上が図られているか	4	4
4-2	資格取得率の向上が図られているか	3	3
4-3	退学率の軽減が図られているか	3	3
4-4	卒業生等の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	3
4-5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2	2

【審議内容】 4-4 卒業生等の社会的な活躍及び評価を把握しているか。

(具体的取り組み)

就職担当をはじめ教職員の会社訪問時を活用して現状を把握するとともに、各就職先で活躍する卒業生を学校案内等に掲載する等、卒業後の活躍状況の把握、評価及び広報に努めている。

(課題)

企業訪問等で卒業生の状況を確認しているが、卒業生に関するデータの学校としてまとめられておらず、卒業生の把握が不十分である。

(改善策)

自動車関連業界や各ディーラー等で活躍する卒業生の名簿の整備及び後援会についても検討する。

(委員の方からのご意見)

- ・卒業生の方々がどのように活躍されているのか、アンケート等されるのであれば協力する。
- ・卒業生は就職して半年後くらいに、企業側の協力を得て、専門学校第一自動車大学校に集まり、意見交換や情報収集をすると、離職者の軽減につながるのではないかとと思われるのでタイアップして行ってもらいたい。
- ・離職者の情報について、離職後学校に報告する等、企業、学校でデータを共有し、再就職できるよう検討してもらいたい。

(4) 学生支援

就職支援策については、各種教育を通じて、入学時から学生の職業意識の涵養に努めるとともに、クラス担任及び就職担当教員によるきめ細やかな就職・進路指導により100%就職できており、そのほとんどの学生が希望通りに就職できている。

経済的な支援に関しては、学校独自の特待生制度を保持するとともに、担当事務職員により高等教育の修学支援新制度を含めた日本学生支援機構の奨学金制度等を可能な限り有効に活用できるように、学生、保護者に対して入学時から説明会を計画的に実施してきめ細やかな支援体制を構築し、懇切丁寧な対応に努めている。

項目	評価項目	自己点検 評価	学校関係者 評価
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	3	3
5-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3	3
5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	3
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3	3
5-6	保護者と適切に連携しているか	3	3
5-7	卒業生への支援体制はあるか	3	3
5-8	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みがおこなわれているか	3	3

【報告】5-3 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。

(具体的取り組み)

AO入試、指定校推薦等学校独自の特待生制度により校納金の一部免除を行うとともに、事務職員による高等教育修学支援新制度を含め日本学生支援機構の奨学金制度等利用し易いきめ細やかな支援体制を整備している。

(課題)

学生の関心が低いため、入学前及び入学後等計画的に日本学生支援機構奨学金説明会の実施が必要である。

(改善策)

保護者への積極的な情報提供及びクラス担任を含めた継続的な新修学支援制度に関する普及教育

(委員の方からのご意見)

- ・経済的理由で退学とならないように対応してもらいたい。
- ・企業奨学金は複数の企業が採用しているが、留学生にたいして対応できるのかどうか確認する。一部企業では対応している。
- ・福岡県人材確保育成連絡協議会でも高校訪問時に自動車整備士の紹介、資格を説明しているが、その時に合わせて企業奨学金についても情報提供する。
- ・就職内定先でのアルバイトが出来ると卒業後にすぐ仕事ができる。

#### (カ) 教育環境

本校は、福岡市博多区の博多駅の近傍に位置しており通学に適した環境であり、また、本校近傍には各社ディーラー等自動車関連の企業が多数集中する地域となっていることから、通学時等において自動車整備士としての職業意識の涵養や修学意欲の向上に適した恵まれた教育環境にある。

また、学生の居住する地域の近傍にも、複数のディーラーや自動車整備工場が数多く存在することから、希望のインターンシップ先で研修しやすい環境にある。

学校の施設・設備については、一級整備士及び二級整備士養成施設として必要な基準を十分満たしており、施設の防火点検や車両用エレベーター等の保守点検等も国が定める法令に基づき定期的に受検しており、法規適正に維持・管理している。

項目	評価項目	自己点検 評価	学校関係者 評価
6-1	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	2	2
6-2	学内外の実習施設、インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか	3	3
6-3	防災に対する体制は整備されているか	3	3

【報告】6-2 学内外の実習施設、インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか。

(具体的取り組み)

教職員によりインターンシップ先の確保及び研修状況の把握に努めている。また、整備振興会



と連携し新規開拓を図っている。学校内の実習については、小グループ編成により効果的な教育に努めている。

(課 題)

留学生の増加に伴うインターンシップ受け入れ企業の確保が必要である。

(改善策)

各ディーラーや自動車整備工場への早期の情報提供と先行的なインターンシップ受け入れに関する調整の実施

(委員の方からのご意見)

・インターンシップ後の振り返りや情報共有が授業に繋がれば、授業との違い、企業でのスピード感、社会人としての時間の守り方等技術的でない部分の気づきが有意義になる。

#### (キ) 学生の受け入れ募集

本校は開校以来、建学の精神である「個性の伸展」を重視し、自動車整備士への夢と希望を持った生徒、社会人、工業系自動車科・コース以外の出身者、留学生を幅広く受け入れている。

九州・山口各県を中心に、教職員に担当区域を付与してそれぞれの担当区域内の高校訪問、事務職員による各日本語学校広報を実施し募集広報を行っているが、令和5年度は福岡県外の高校訪問は実施できていない。

また、ホームページやパンフレット等、各種広報媒体等により国家資格試験合格状況や就職状況等の教育成果を正確に伝えている。

項目	評価項目	自己点検 評価	学校関係者 評価
7-1	学生募集活動は、適正におこなわれているか	3	3
7-2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3	3
7-3	校納金は妥当なものとなっているか	3	3

【報 告】 7-2 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。

(具体的取り組み)

30年余りの高い就職実績と国家試験合格までの教育ノウハウ、数多くの卒業生が自動車業界で活躍していることを、県内外広報、日本語学校広報、オープンキャンパス及び進路ガイダンス等を通じて周知に努めている。

(課 題)

教職員、事務職員の募集広報能力の向上が必要である。

(改善策)

教職員及び事務職員の募集広報に関わる認識の統一及び積極的な情報共有の実施

(委員の方からのご意見)

・SNSでの有効な情報発信

#### (ク) 財 務

学校法人都築学園全体として効率的・効果的な経営に取り組んでいるところであり、中長期的には学校の財務基盤は安定しているものと考えている。

また、私立学校法や学園規程に基づき、公認会計士による監査を行い、評議員会、理事会に報告するとともに、ホームページ上で情報公開している。

項目	評価項目	自己点検 評価	学校関係者 評価
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	3
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3	3
8-3	財務について会計監査が適切に行われているか	4	4
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	4

【報告】8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。

(具体的取り組み)

前年度の収支の結果を踏まえ、今後も人件費及び経費の削減に取り組む等、より一層の改善を図るよう計画している。

(課題)

人件費の削減と安定的な学生数の確保が重要であると思料する。

(改善策)

カリキュラムの見直し検討と効果的な募集広報の推進が必要である。

#### (ク) 法令等の遵守・内部質保障

本校は文部科学省から認可された専修学校であり、国土交通省の自動車整備士養成施設であるため、専修学校としての文部科学省の設置基準を遵守するとともに、福岡陸運局による立ち入り検査を受検する等、法規適正に学校運営を行っている。

また、年度末に自己点検・評価を行い、問題点を明確にしてその改善に取り組むとともに、その結果を学校ホームページで情報公開している。

項目	評価項目	自己点検 評価	学校関係者 評価
9-1	法令・専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
9-2	個人情報に関してその保護のための対策がとられているか	3	3
9-3	自己評価の実施と問題点の改善をおこなっているか	3	3
9-4	自己評価結果を公開しているか	3	3

【報告】9-2 個人情報に関してその保護のための対策がとられているか。

(具体的取り組み)

法人の規程に基づき、個人情報資料の保管を適切にする等対策を行っている。

(課題)

特になし。

(改善策)

特になし。

#### (コ) 社会貢献・地域貢献

若者の車離れが急速に進んでおり、また、車・バイクに興味を持つ若者が減少する中、自動車業

界や自動車整備士について高校生、中学生に幅広く知ってもらうため積極的に体験型学習等の授業を受け入れている。

また、留学生基礎自動車整備士コースでは、年2～3回、近隣の公民館で地域の住民と留学生の交流行事を催すとともに、年1回の献血や月1回の学校周辺の校外美化運動を行っている。

項目	評価項目	自己点検 評価	学校関係者 評価
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献をおこなっている	2	2
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3	3
10-3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	2	2

【審議内容】10-2 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。

（具体的取り組み）

地域公民館からの依頼で献血に参加するとともに、毎月1回付近の清掃活動を実施。また、ボランティア活動に関するポスターを掲示し学生の啓蒙を図るとともに、ホームルームでの紹介等により活動を奨励している。

（課題）

学生のボランティア活動の状況の的確な把握

（改善策）

ボランティア活動に参加している学生の激励や移動等の支援を積極的に行うとともに、ホームルームでの紹介、活動の様子の写真のホームページへの掲示等により継続的な学生の啓蒙を図る。

（委員の方からのご意見）

・地域の交流について、今年度も提案できることは積極的に対案させていただきます。

#### （9）国際交流

少子化による国内の慢性的な労働力不足を踏まえ、留学生基礎自動車整備士コースを設置し、海外の多くの国からの留学生を幅広く受け入れ、グローバルな環境を活かして、日本人と留学生の職業人としての養成を行い、国際社会に貢献する学校を目指している。

項目	評価項目	自己点検 評価	学校関係者 評価
11-1	留学生の受け入れ・派遣について戦略を持ってしているか	3	3
11-2	留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	4
11-3	留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3	3
11-4	留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	2	2

【審議内容】 11-1 留学生の受け入れ・派遣について戦略を持っていつているか。

(具体的取り組み)

少子化による国内の慢性的な労働力不足を踏まえ、留学生基礎自動車整備士コース、メカニクコースへの積極的な留学生の受け入れを行っている。

(課題)

留学生の確実な就職先の確保が必要である。

(改善策)

インターンシップの機会等を活用し、自動車整備関連企業の外国人留学生雇用の理解を促進し、安定的な就職先を確保する。

## (6) 学校関係者評価委員総評

### ア 一般社団法人 福岡県自動車整備振興会 指導部部長 寺崎 浩二 様

非常に良い会議で皆さんの忌憚のない意見を発表頂いて非常に良かった。

私の方から自動車整備業界について、皆さん方ご承知のとおりデジタル化が進んでありまして、昨年の4月からは登録自動車につきましては車検証が随時電子化に変わってきておりますし、今年の1月からは軽自動車も電子化されている状況になっております。それに伴いまして指定工場さんも代行制度を使えば自社で車検のステッカーを印刷し、電子車検証を書き換えすることが出来ますので、運輸支局に行くことなく継続検査において自社で完結するような非常に便利な体制となります。

また、今年の10月からは新たな点検項目、新たな検査、車検の継続検査時に「OBD検査」というのが追加されております。OBD検査を実施できるのは指定工場と認証工場です。車検時にOBD検査対象車両につきましてはOBD検査をして頂いて、その結果が合格でないと車検に通らないということになっております。学校ではOBD検査と同じ内容で繋げて頂くと合格か不合格かの判定などもできますので、学生さんとかに見せてあげればいいのではないかと思います。OBD検査は検診履歴を搭載した車の制御装置等の誤作動によって重大な事項が発生しているということが背景になり、目に見えない電子制御装置の検査を行うためにOBD検査というのが10月から実施されるということです。認証工場さんにおいては、OBD検査は出来ません。OBD確認しか出来ませんので自社でOBD確認をして頂いて指定する場所の県の検査協会に車を持ち込めば国で行うOBD検査が実施されるということになります。今年の10月から月始まるということで、機会があれば学生さんにはお伝えいただければと思います。今日はありがとうございました。

### イ 福岡トヨペット株式会社 採用・教育部 採用教育グループ 上級主任 東 あかね 様

今日はこういった会議に呼んで頂いてありがとうございました。これまでは就職活動ということで先生にお願いしますと伺うことが多かったのですが、卒業生も結構いますのでこちらからも積極的に情報共有させて頂いて、卒業生も活躍しているということを第一自動車大学校に知って頂き、また地域の方にも知って頂いたりして、一緒に盛り上がっていただけると感じましたので、また今後とも宜しくお願い致します。

### ウ 福岡スバル株式会社 総務統括部 人事課 武田 匡博 様

本日はどうもありがとうございました。このような事を行っているのだと私も勉強となりました。ありがとうございました。いつも先生方をお願いすることばかりで大変申し訳ないと思っておるので

すが、本当に私たちでも一緒に活動できることがありましたら、お声掛け頂ければ、私達からもまたお声掛け出来ればと、一緒に自動車の整備業界を盛り上げて行ければと思っておりますので、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

**エ 福岡市東光公民館 館長 松本 文彦 様**

私は、業界とは全く違う地域の代表としてここに来ましたので、地域の方から言わせてもらうと、地域の学校ということで何校かあるのですが、結構他の学校さんも含めて公民館に出入りされておりますので、地域の中にあるから勿論協力していきたいと思っておりますので、私もその先頭に立って取り組んで、協力させて頂きたいと思っております。

**オ 東越自動車 代表者 王 東明 様**

学校の方は多分、国家試験合格率の注目しているのですが、やはり企業側としてはすぐに戦力、すぐに使える力、これのバランスを取ることは難しいので課題だと思っております。また、今の車は、私が勉強したジーゼルエンジンについても結構進化して色々なセンサーも付いていますのでこの辺も学生の方にも分かるようにして教えてほしいです。